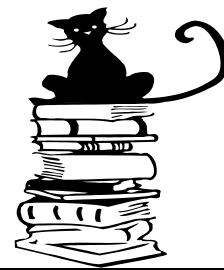


# 8月

## 新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
なぞとき	畠中 恵	さあさあ、皆で賭けをしようか！ 勝者は一つ、望みを叶えて貰えるって！ 若だんなど妖の謎解き合戦の始まりだ！！ 若だんなど妖は摩訶不思議な怪異に遭遇 若だんなど長崎屋の妖達はすべての謎を解けるの～？
難問の多い料理店	結城 真一郎	ビーバーイーツ配達員として日銭を稼ぐ「僕」は、注文を受けて向かった怪しげなレストランで、オーナーシェフと出会う。彼は「お願いがあるんだけど。報酬は1万円」と、嘘みtainな儲け話を提案し、あろうことが僕はそれに乗ってしまった。
海岸通り	坂崎 かおる	《第171回 芥川賞候補作》 踊る、それがわたしたちの自由 海辺の老人ホームに集う女たちのゆるやかなつながり。さまざまな人物が、正しさとまちがい、本物と二セモノの境をこえて踊る、静かな物語。
ツミデミック	穂 三子	《第171回 直木賞受賞作》 失業中で家に籠もりがちな恭一。ある日小一の息子・隼が遊びから帰ってくると、聖徳太子の描かれた旧一万円札を持っていた。近隣の一軒家に住む老人にもらったというそれをたばこ代に使ってしまった恭一だが――鮮烈なる”犯罪”小説全6話
わたしの知る花	町田 そのこ	「あんたは、俺から花をもらってくれるのか」虫も殺せぬ優男、結婚詐欺師……？77歳で孤独死した老人の、誰も知らない波瀾に満ちた意外な人生とは？一人の男と美しい花を巡る物語。
四つの白昼夢	篠田 節子	コロナ禍がはじまり、終息に向かった。これは目眩？ 日常の隣にある別世界。分別盛りの人々の抱えた困惑と不安をユーモアと活力あふれる文章で描く四つの日常奇譚集。
地雷グリコ	青崎 有吾	《第171回 直木賞候補作》 射守矢真兎(いもりや・まと)。女子高生。勝負事に、やたらと強い。平穩を望む彼女が日常の中で巻き込まれる、風変わりなゲームの数々。次々と強者を打ち破る真兎の、勝負の先に待ち受けるものとは――。

令和元年の人生ゲーム	麻布競馬場	<p>《第171回 直木賞候補作》  「まだ人生に、本気になってるんですか？」この新人、平成の落ちこぼれか、令和の革命家かー。意識の高い”若者たちのなかにおいて、ひとり「何もしない」沼田くん。彼はなぜ、22歳にして窓際族を決め込んでいるのか？</p>
サンショウウオの四十九日	朝比奈 秋	<p>《第171回 芥川賞受賞作》…8月中旬頃配架予定  同じ身体を生きる姉妹、その驚きに満ちた普通の人生を描く。周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。不思議なことはなにもない。けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか？そして今これを考えているのは誰なのかー</p>
パリ山行	松永 K三蔵	<p>《第171回 芥川賞受賞作》…8月中旬頃配架予定  波多は同僚に誘われるまま六甲山登山に参加。社内登山グループは正式な登山部となり、波多も親睦を図る目的の気楽な活動をするようになっていたが、職人気質で変人扱いされ孤立しているベテラン社員妻鹿があえて登山路を外れる難易度の高い登山「パリ山行」をしていることを知ると……。</p>
もうじきたべられるぼく	はせがわ ゆうじ	<p>「うんめい」を受け入れた子牛の「ぼく」が、さいごにしたかったこととはー静かで優しく、切ないけれど愛に満ちた物語。読み終えたとき、きっと、あなたの「いただきます」が、変わります。</p>

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」 ■「ESSE」

